

過去の洪水実績など計画の前提となっているデータ等 の点検方法

平成23年10月14日

国土交通省 九州地方整備局

過去の洪水実績など計画の前提となっているデータ等の点検方法

点検の目的

- ◇ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目「第4 1 再評価の視点」(1)事業の必要性等に関する視点①で規定されている「過去の洪水実績など計画の前提となっているデータ等について詳細に点検を行う。」に基づき、雨量データ及び流量データの点検を行う。

点検の内容

雨量データの点検

- ◇検討に使用している値について、月表や年表等のデータ記載資料と差異がないことを確認し、必要に応じて観測記録等との照合も行う。
- ◇雨量の平面的な分布について等雨量線図を用いて、特異なデータがないことを確認する。
- ◇近傍観測所における同一洪水での降雨の時間分布(ハイトグラフ)を比較し、異なる傾向を示すデータがないことを確認する。

流量データの点検

- ◇流量観測データについて、流量計算書、断面計算書、観測所横断図等のデータ記載資料の点検を行い、データやH-Q式等に問題がないことを確認する。

※H-Q式とは各観測地点における年間の流量観測値を基に、水位と流量の関係を示した近似式